



06



# 礼拜

BASE Is Biblical And Solid Essentials  
WORSHIP

*Introduction*

# 序論



“

礼拝は  
靈的成熟と  
関連している。

-Alfred P.Gibbs

信仰年数は  
礼拝の成熟度と  
関係する

主がお望みの  
礼拝者へと  
整えられたい

# AG DN DA

01

02

03

04

05

**パン裂き礼拝重視の理由**

**パン裂き礼拝の意味**

**願いと贊美と礼拝の区別**

**群れの礼拝について**

**神がお求めの礼拝者の姿**

*Chapter 1*

# パン裂き札拝 重視の理由

*Section 1-1*

# 教会史から パン裂き札拝を 考える

ブラザレン

Brethren

*Section 1-2*

# 聖餐式の考え方

# パン裂き礼拝

## The Bread Breaking



聖餐式

Communion



ミサ

Mass



# 聖体變化

## Eucharist Change



# 聖体拜領

## Holy Communion



*Section 1-3*

# 聖職者制度の出現



A.D.392

# ローマ カトリック の 階層組織

教皇

Pope

枢機卿

Cardinals

大司教

Arch Bishops

司教

Bishops

司祭

Priests

助祭

Deacons

一般信徒

The Laity

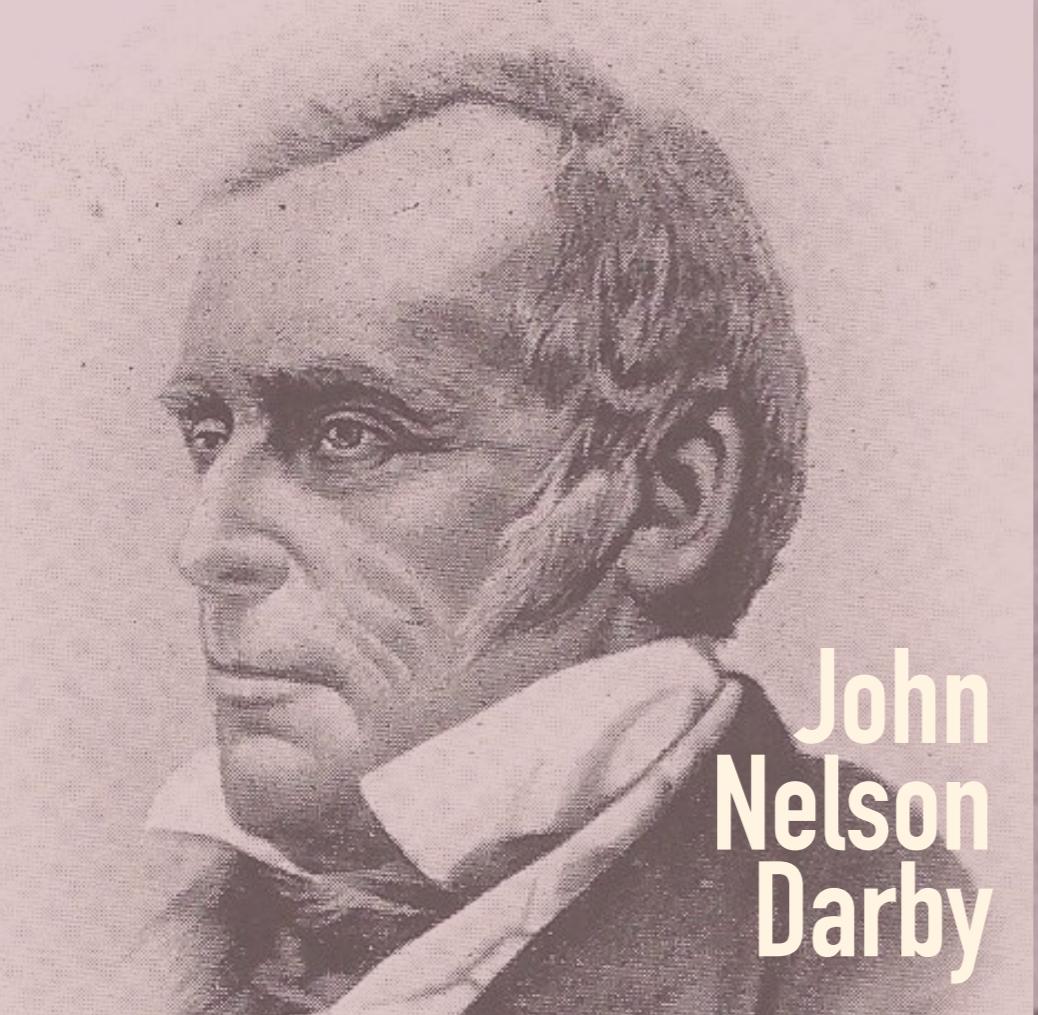
# 告解

## Confession

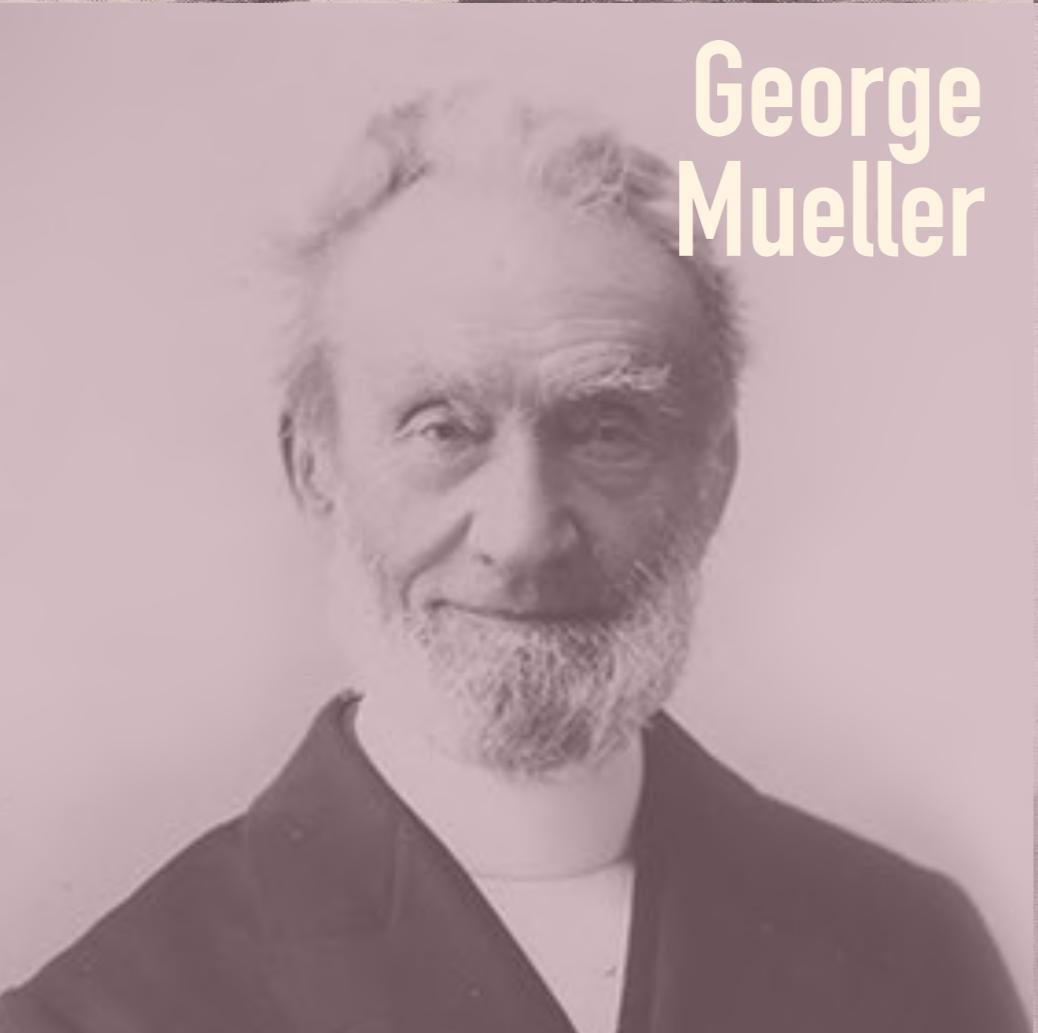


*Section 1-4*

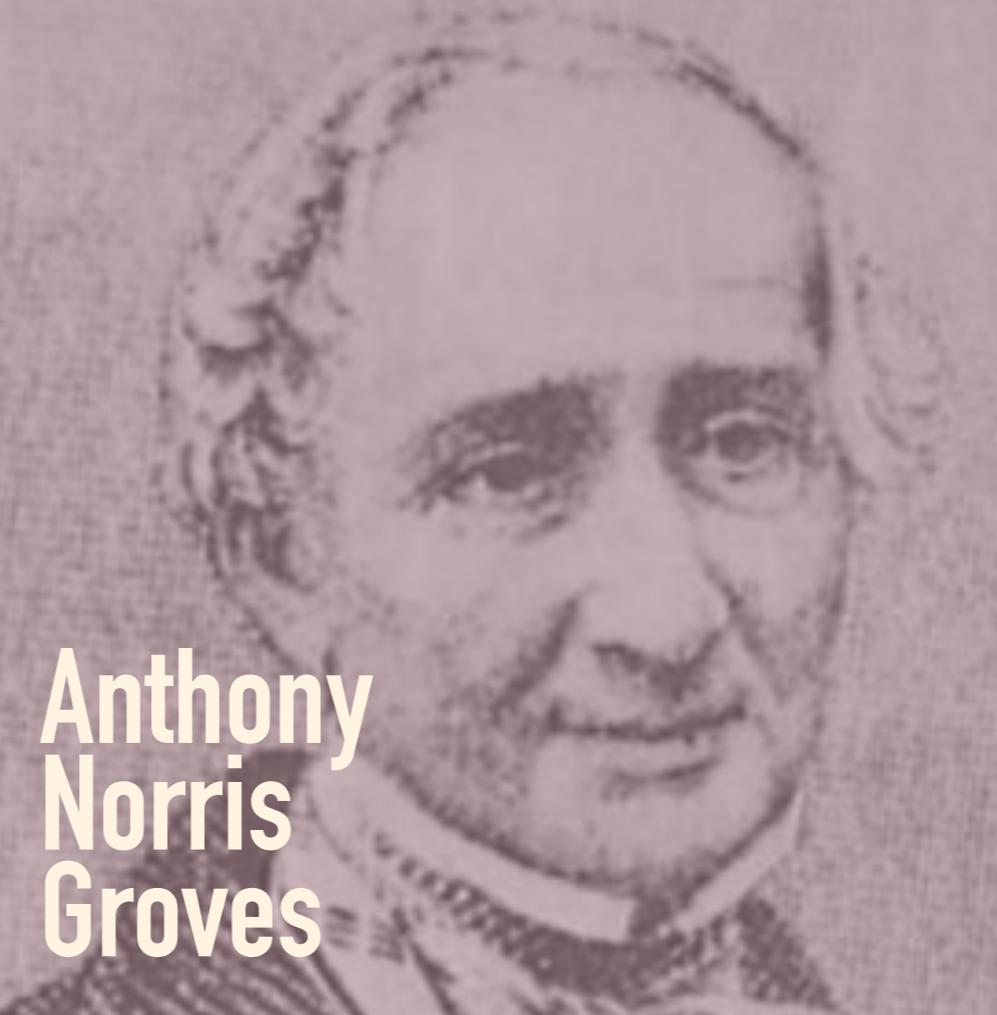
# 聖職者制度からの脱却



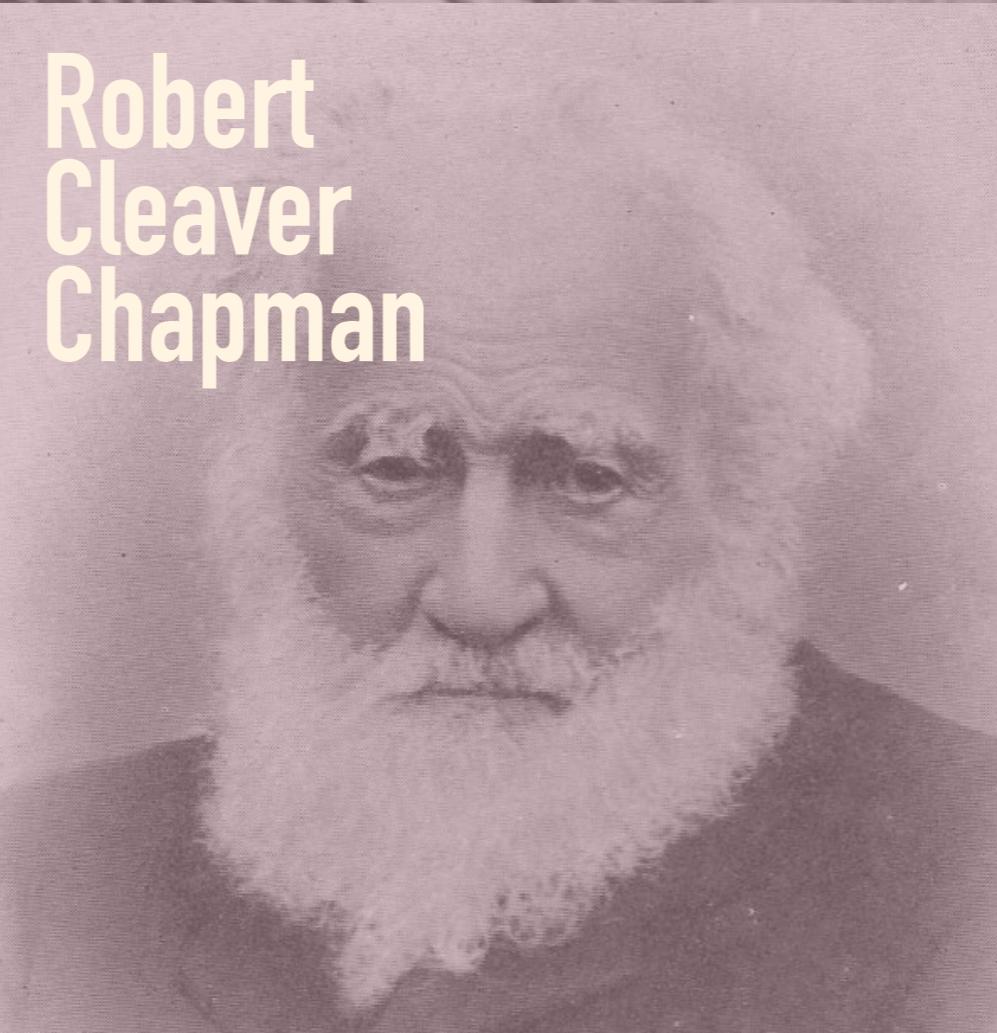
John  
Nelson  
Darby



George  
Mueller



Anthony  
Norris  
Groves



Robert  
Cleaver  
Chapman

A.D.  
**1827**

キリストによって  
神とつながる

Connect With God Through Christ

*Section 1-5*

# ブラザレンの特徴

パンは一つですから、  
私たちは大勢いても、  
一つのからだです。  
皆がともに  
一つのパンを  
食べるのですから。

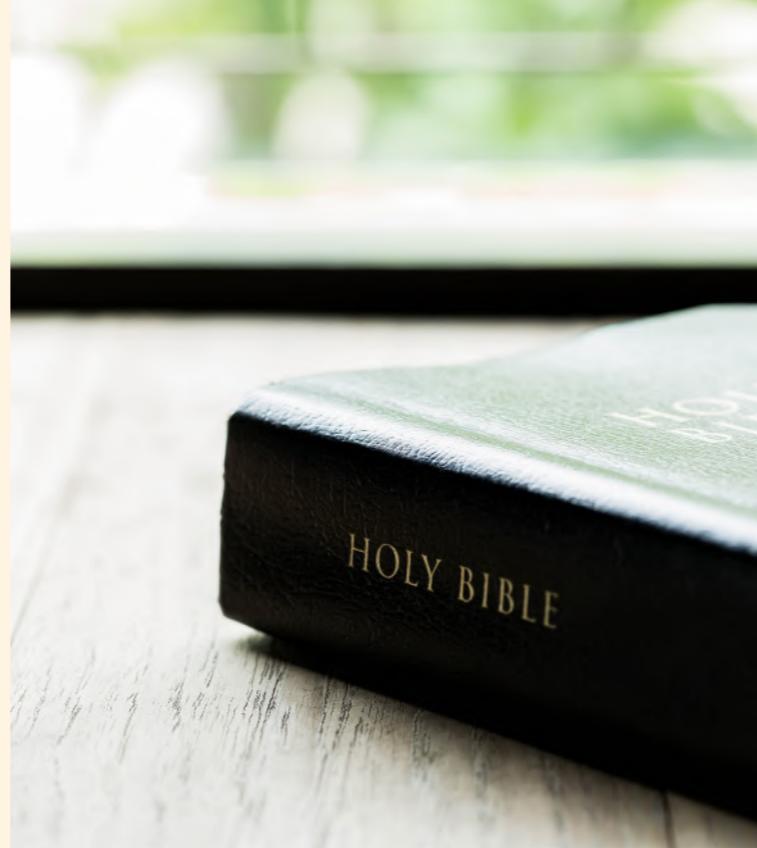


—

One

# 信仰義認

Justification Of Faith

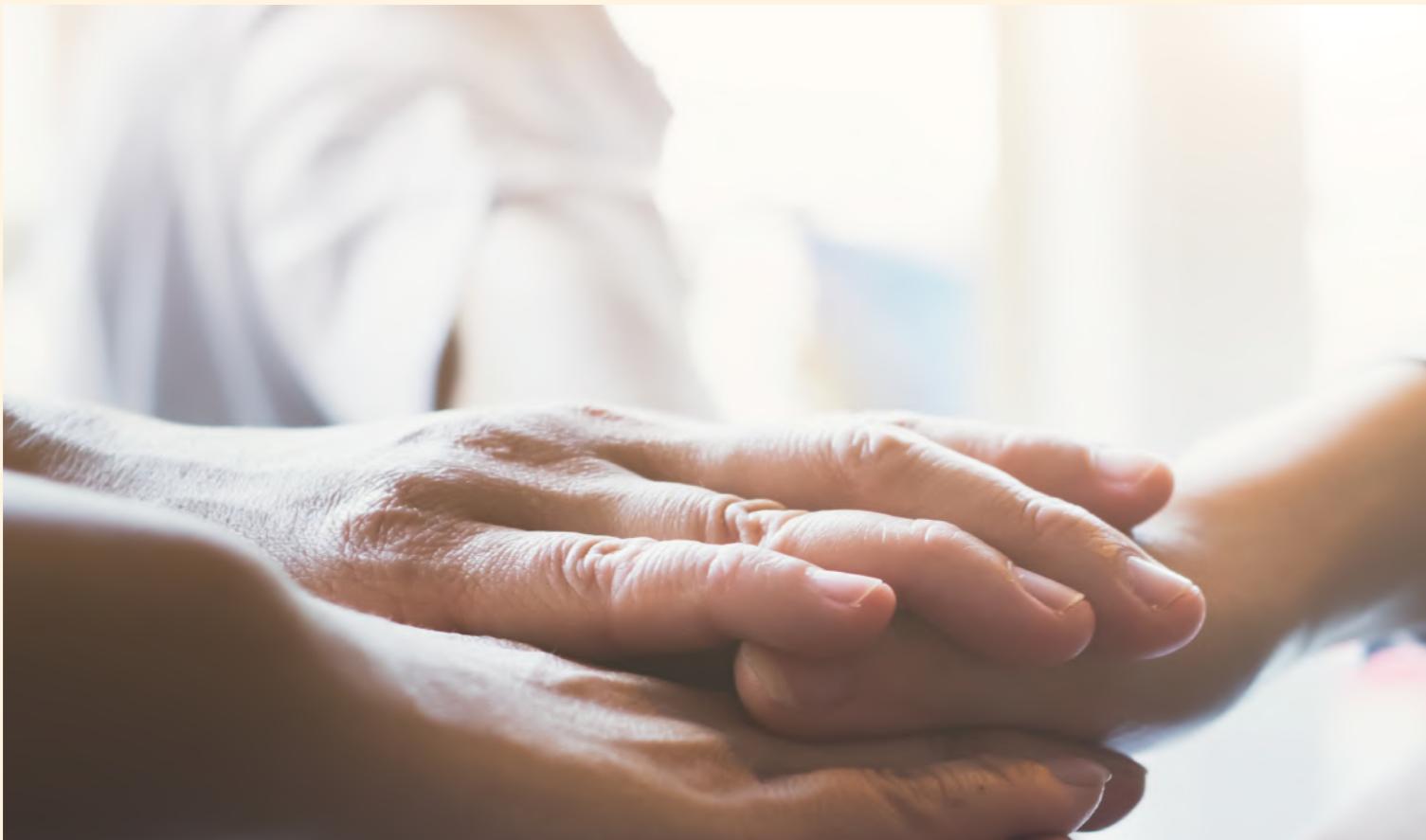


# 權威は 聖書だけ

Bible Only

# 全信徒 祭司

All Believer Priest



兄弟

Brotherhood

調和

Harmony

*Section 1-5*

# 第1章のまとめ

パン裂き札拝を  
考えるために  
教会史を  
考える必要がある

パンと  
ぶどう酒は  
キリストを表す  
象徴

聖職者制度の  
出現による  
靈的暗黒時代が  
あった

諸集会の始まりは  
聖職者制度からの  
脱却だった

パン裂き札拌は  
兄弟姉妹が  
何の差別もなく  
一つであることの  
告白

*Chapter 2*

# パン裂き札の 意味

*Section 2-1*

# パン裂き札拌の ルーツ

私は主から  
受けたことを、  
あなたがたに  
伝えました。  
すなわち、  
主イエスは

コリント 11:23-25

渡される夜、  
パンを取り、  
感謝の祈りを  
ささげた後  
それを裂き、  
こう言われました。

「これは  
あなたがたのための、  
わたしのからだです。  
わたしを覚えて、  
これを行いなさい。」

食事の後、  
同じように杯を取って  
言われました。

「この杯は、  
わたしの血による  
新しい契約です。  
飲むたびに、  
わたしを覚えて、  
これを行いなさい。」

ルーツは  
主が実施した  
過越の食事

Roots: Passover meals conducted by the Lord

イエスは彼らに  
言われた。

ルカ 22:15

「わたしは、  
苦しみを受ける前に、  
あなたがたと  
一緒にこの過越の  
食事をすることを、  
切に願っていました。」

ルカ 22:15

[ルカ22:15]

切に  
願って  
いました

[文語訳]

望みに  
望みたり

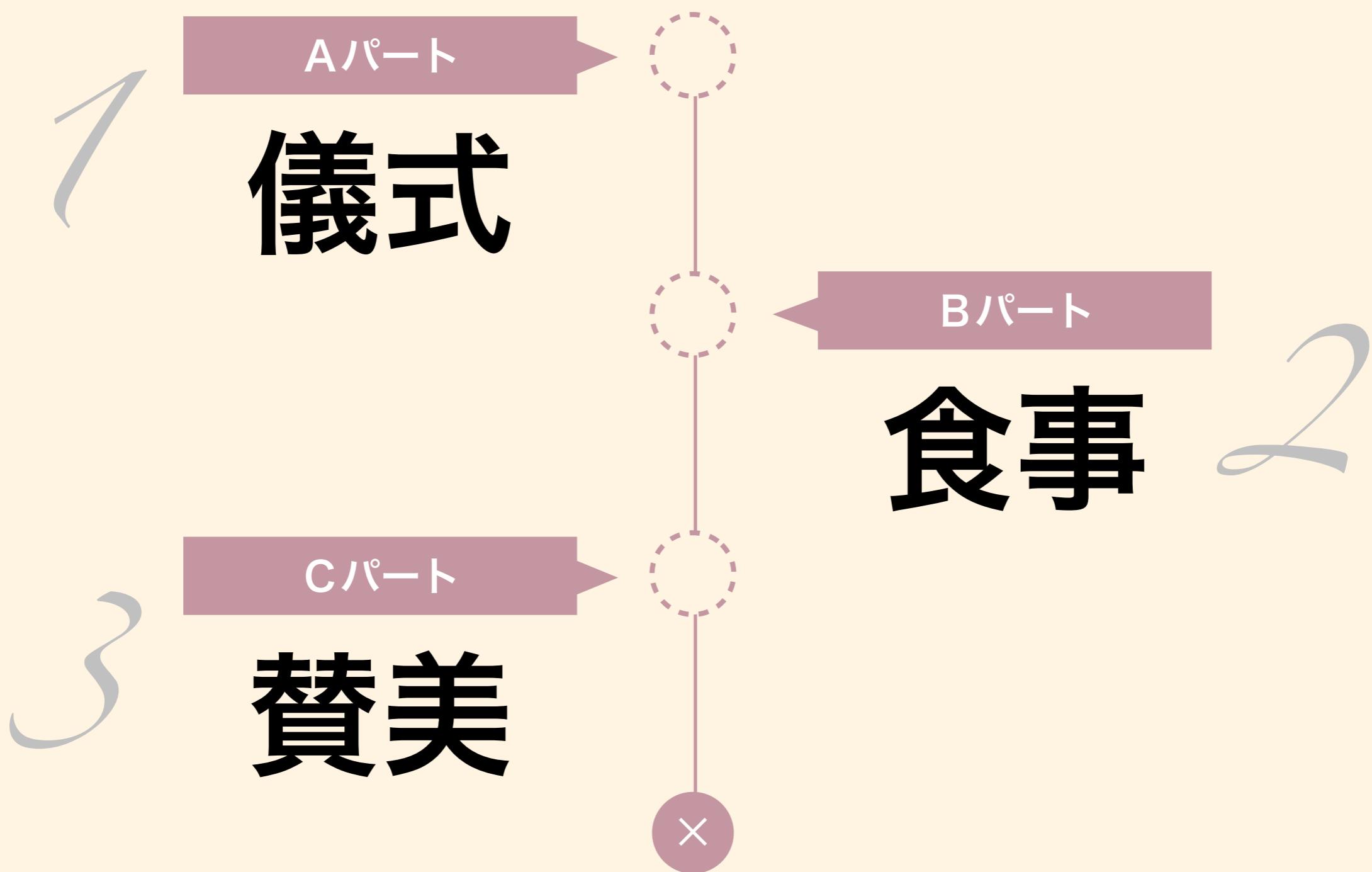
[KJV]

With desire  
I have desired

*Section 2-2*

# 過越の食事の手順

# 逾越の食事 PESACH



# A 儀式



燭台の蝋燭に火を灯す

1

# A 儀式



第一の杯 「感謝の杯」 (ルカ22:14-17)

2

そしてイエスは  
杯を取り、  
感謝の祈りを  
ささげてから  
言われた。

---

ルカ 22:17-20

---

「これを取り、  
互いの間で分けて  
飲みなさい。」  
(中略)

それからパンを取り、  
感謝の祈りを  
ささげた後  
これを裂き、  
弟子たちに  
与えて言われた。

---

ルカ 22:17-20

---

「これは、  
あなたがたのために  
与えられる、  
わたしのからだです。  
わたしを覚えて、  
これを行いなさい。」

食事の後、  
杯も同じようにして  
言われた。

ルカ 22:17-20

# A 儀式



手を洗うきよめの儀式（ヨハ13:4-5）

3

# A 儀式



第二の杯 「裁きの杯」

# A 儀式



カルパスの儀式（マタ26:23）

イエスは答えられた。  
「わたしと一緒に  
手を鉢に浸した者が  
わたしを  
裏切れます。」

# A儀式



アフィコーメンの儀式

# A 儀式



三つに仕切られた袋のそれぞれの  
スペースに種なしパンを入れる

6

# A 儀式



袋の真ん中のパンを取り出す

# A 儀式



取り出したパンを家長が二つに裂く

6

# A儀式



二つに裂かれたパンの半分を  
亞麻布にくるんで隠す

# A 儀式



ハロセットとマロールを食べる  
(ヨハ13:26-30)



イエスは答えられた。  
「わたしがパン切れを  
浸して与える者が、  
その人です。」

それからイエスは  
パン切れを浸して取り、  
イスカリオテの  
シモンの子ユダに  
与えられた。

ユダはパン切れを  
受けると、  
すぐにして行った。  
時は夜であった。

ヨハネ 13:30

# B

# 食事



メインコースを食べて家族団欒



# 食事



食事の締めにアフィコーメンを食べる



# B 食事



亞麻布に包まれ隠されていたパンが  
人前に明らかにされる

9

これはわたしの  
からだです

マタイ 26:26



# 食事



発見されたパンが更に裂かれ  
参加者全員に振る舞われる

9

# B 食事



第三の杯 「贖いの杯」

16

これはわたしの  
契約の血です

マタイ 26:28

見よ、その時代が来る  
——主のことば——。  
そのとき、わたしは  
イスラエルの家  
およびユダの家と、  
新しい契約を結ぶ。

これらの日の後に、  
わたしが  
イスラエルの家と  
結ぶ契約はこうである  
――主のことば――。

わたしは、  
わたしの律法を  
彼らのただ中に置き、  
彼らの心に  
これを書き記す。

エレミヤ 31:31,33

わたしの靈を  
あなたがたのうちに  
授けて、わたしの  
掟に従って歩み、  
わたしの定めを  
守り行うようとする。

エゼキエル 36:27

それを、神は私たちに  
御靈によって啓示して  
くださいました。  
御靈はすべてのことを、  
神の深みさえも  
探られるからです。

人間のことは、  
その人のうちにある  
人間の靈のほかに、  
いったいだれが  
知っているでしょう。

同じように、  
神のことは、  
神の靈のほかには  
だれも知りません。

しかし私たちは、  
この世の靈を  
受けたのではなく、  
神からの靈を  
受けました。

それで私たちは、  
神が私たちに  
恵みとして与えて  
くださったものを  
知るのです。

# 賛美



第四の杯「賛美の杯」（マタ26:30）

14

# 贊美



最後の挨拶

13

イスラエルの全会衆に  
次のように告げよ。

出エジプト 12:3

この月の十日に、  
それぞれが  
一族ごとに羊を、  
すなわち家ごとに  
羊を用意しなさい。

本質がないと  
形骸化する

If there is no essence, it will form

*Section 2-3*

# 第2章のまとめ

パン裂き札拝の  
ルーツは  
ユダヤ文化における  
過越の食事

パンは  
主の  
復活のからだを  
表す

杯は  
新しい契約のための  
血を表す

パン裂き札拌は  
主のいのちに  
あふれた  
喜びの集会

*Chapter 3*

# 願いと賛美と 礼拝の区別

*Section 3-1*

**願いとは**

心が「必要」に  
向かうこと

The mind goes to "need"

*Section 3-2*

# 贊美とは

心が「祝福」に  
向かうこと

The mind heads for “blessing”

*Section 3-3*

# 礼拝とは

心が「神」に  
向かうこと

The mind heads for "God"

*Section 3-4*

# 第3章のまとめ

礼拝とは  
主に感動した思いを  
主にお伝えする  
自発的なもの

*Chapter 4*

# 群れの礼拝 について

*Section 4-1*

**成熟した  
群れの礼拝とは**

また、歌い手である  
レビ人全員、  
(中略)  
亞麻布を身にまとい、  
シンバル、琴および  
豎琴を手にして

祭壇の東側に立ち、  
百二十人の祭司たちも  
彼らとともに  
ラッパを  
吹き鳴らしていた。

ラッパを  
吹き鳴らす者たち、  
歌い手たちが、  
まるで一人のように  
一致して  
歌声を響かせ、

主を賛美し、  
ほめたたえた。  
そして、  
ラッパとシンバルと  
様々な楽器を奏でて  
声をあげ、

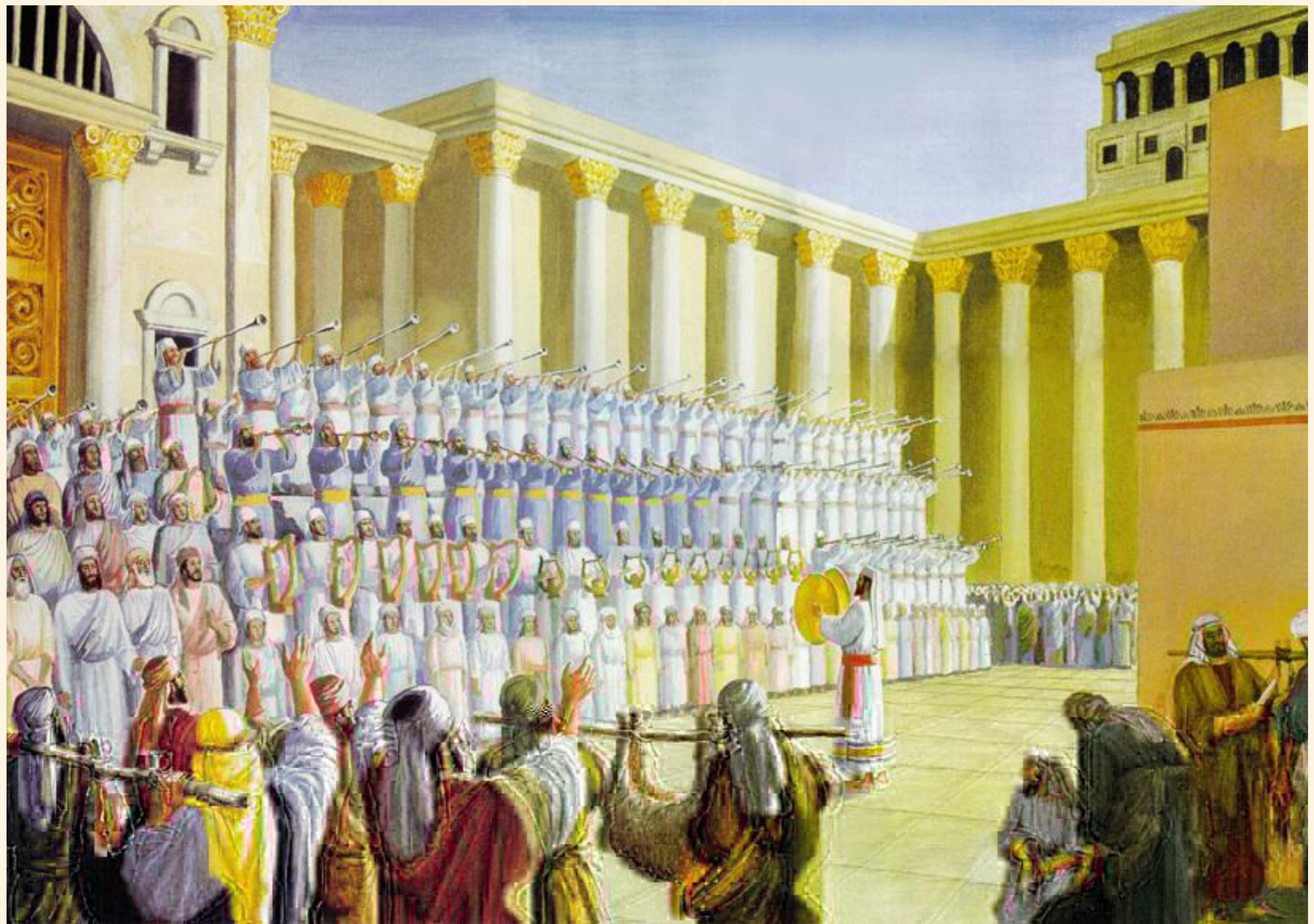
「主はまことに  
いつくしみ深い。  
その恵みは  
とこしえまで」

と主に向かって  
賛美した。  
そのとき、  
雲がその宮、  
すなわち  
主の宮に満ちた。

祭司たちは、  
その雲のために、  
立って仕えることが  
できなかった。

主の栄光が  
神の宮に  
満ちたからである。

II歴代誌 5:12-14



*Section 4-2*

**兄弟は  
礼拝のために  
準備する**

**礼拝は具体的に**

**Worship is concrete**

**行動原理は愛**

**The principle of action is love**

それでは、  
どうすれば  
よいのでしょう。  
私は靈で祈り、  
知性でも  
祈りましょう。

靈で賛美し、  
知性でも  
賛美しましょう。

そうでないと、  
あなたが靈において  
賛美しても、  
初心者の席に  
着いている人は、

あなたの  
感謝について、  
どうしてアーメンと  
言えるでしょう。

あなたが  
言っていることが  
分からぬいの  
ですか。

あなたが  
感謝するのは  
けっこうですが、  
そのことで

ほかの人が  
育てられるわけでは  
ありません。

*Section 4-3*

**姉妹も  
礼拝のために  
準備する**

神は心の声を  
聞いておられる

God is listening to the voice of my heart

*Section 4-4*

# 第4章のまとめ

成熟した  
群れの礼拝には  
調和がある

聞く人に  
配慮して礼拝する

群れの礼拝が  
豊かになるためには  
兄弟姉妹各人の  
準備が必要

*Chapter 5*

# 神がお求めの 礼拝者の姿

*Section 5-1*

**神がれ挙者を  
求めておられる**

しかし、  
まことの礼拝者たちが、  
御靈と真理によって  
父を礼拝する時が  
来ます。

今がその時です。  
父はそのような  
人たちを、ご自分を  
礼拝する者として  
求めて  
おられるのです。



すべてはあなたから  
出たのであり、  
私たちは御手から  
出たものを  
献げたにすぎません。

*Section 5-2*

# 神がお求めの 礼拝者とは



私たちの先祖は  
この山で  
礼拝しましたが、  
あなたがたは、  
礼拝すべき場所は

ヨハネ 4:20-21,23

エルサレムにあると言っています。」  
イエスは  
彼女に言われた。

「女人よ、  
わたしを信じなさい。  
この山でもなく、  
エルサレムでも  
ないところで、

ヨハネ 4:20-21,23

あなたがたが  
父を礼拝する時が  
来ます。  
(中略)

---

ヨハネ 4:20-21,23

---

しかし、まことの  
礼拝者たちが、  
御靈と真理によって  
父を礼拝する時が  
来ます。

今がその時です。  
父は  
そのような人たちを、

---

ヨハネ 4:20-21,23

---

ご自分を  
礼拝する者として  
求めて  
おられるのです。

ヨハネ 4:20-21,23



すると、  
主は彼に言われた。  
「なるほど、  
あなたがた  
パリサイ人は、

杯や皿の外側は  
きよめるが、  
その内側は  
強欲と邪悪で  
満ちています。



**共通のいのち**

**Common life**

**共通のことば**

**Common language**

*Section 5-3*

**礼拝は礼拝者を  
祝福する**

いちじくの木は  
花を咲かせらず、  
ぶどうの木には  
実りがなく、

オリーブの木も  
実がなく、  
畑は食物を  
生み出さない。

ハバクク 3:17

羊は因いから絶え、  
牛は  
牛舎にいなくなる。









しかし、  
私は主にあって  
喜び躍り、  
わが救いの  
神にあって楽しちもう。

私の主、神は、  
私の力。  
私の足を  
雌鹿のようにして、  
私に高い所を  
歩ませる。

ハバクク 3:18-19

*Section 5-4*

# 第5章のまとめ

**御靈と真理によって  
礼拝する**

礼拝者は  
神を喜ぶ喜びの中に  
入っていくことが  
できる

*Whole Summary*

# 全体まとめ

*Summary Of Introduction*

# 序論のまとめ

礼拝は  
靈的成長度合いと  
関係がある

*Chapter 1 Summary*

# 第1章 パン裂き札拝 重視の理由 のまとめ

パン裂き札拌は  
兄弟姉妹が  
差別なく一つ  
という告白

*Chapter 2 Summary*

# 第2章 パン裂き札拌の意味 のまとめ

パン裂き札拝は  
いのちの躍動がある  
喜びの集会

*Chapter 3 Summary*

# 第3章 願いと賛美と 礼拝の区別 のまとめ

**礼拝は  
自発的なもの**

*Chapter 4 Summary*

# 第4章 群れの礼拝について のまとめ

群れの礼拝の  
豊かさは  
各人の準備に  
かかっている

*Chapter 5 Summary*

# 第5章 神がお求めの 礼拝者の姿 のまとめ

神がれし拝者との  
交わりを  
求めておられる

**EOF**

- 参考資料

A・P・ギブス『礼拝 クリスチャンの最高の任務』伝道出版社、1960年

『主の晩餐 パン裂き』牧草社、1998年

J. Boyd Nicholson 『See the Difference (between the Lord's Supper and the Lord's Table)』 UPLook Articles、2004年

ルース・スペクター・ラセール『ユダヤの祭り』岐阜純福音出版会、1997年

- 改版履歴

---

2016年7月 初版

2018年6月 改版

2019年8月 改版

2019年9月 改版

2019年12月 改版

2020年1月 改版

2020年2月 改版

---